令和8年度 第1回 安芸市上下水道事業経営審議会 会議録

日 時: 令和８年９月３日 14:00～15:05
場 所: 安芸市役所 3階 第7会議室
出席者:

- **委員(10 名):**
  山﨑 孝志(会長)、白川 幸治(副会長)、川田 保雄、井上 一仁、谷 奈津子、鈴木 昭彦、
  岡林 愛、山下 秀文、小松 直子、松井 協一
- **事務局等:**
  植野(副市長)、仲田(上下水道課長)、戸島(上水道工務係長)、小川(上水道管理係長)、
  前田(下水道係長)、篠原(上水道管理係)、高橋(下水道係)

---

1. 開会

- 事務局の進行により開会。
- 副市長より、人口減少や施設老朽化、南海トラフ地震対策など厳しい経営環境の中、今後の水道事業経営や適正な料金のあり方について専門的な見地から十分なご議論をお願いしたい旨の挨拶があった。

2. 委員紹介・事務局紹介

- 委員および事務局の紹介が行われた。

3. 会長・副会長の選出

- 互選により、以下の通り会長・副会長が選出され、承認された。
  - **会長 ：** 山﨑 孝志 委員
  - **副会長:** 白川 幸治 委員
- 山﨑会長より就任の挨拶が行われた。

4. 諮問

- 副市長から山﨑会長へ諮問書が手交された。
- **諮問事項:**「今後の水道事業経営について」
  - 水道料金のあり方について
  - その他経営に関する諸課題等について
- 事務局より、現行は黒字を維持しているものの、将来的な施設更新や新水源整備等により令和 10 年度には収益的収支が赤字に転落する見通しであること等の補足説明が行われた。

5. 議題

(1) 安芸市上下水道事業経営審議会について(事務局説明)

- 本審議会の役割、審議内容・体制、今後のスケジュール案(全 4 回程度を想定し令和 9 年度の答申を目指す)、および守秘義務やホームページ等での会議公開についての説明が行われた。

（2）安芸市水道事業会計の現状と課題、決算の状況について（事務局説明および質疑）

- **事務局説明：**
    - 令和 7 年度末の給水件数は 8,213 件、給水人口は 14,708 人で減少傾向。給水原価 142.49 円に対し供給単価 145.93 円と 1 トンあたり約 3.4 円のプラス（純利益約 1,015 万円の黒字）であるが、令和 6 年度改定の経営戦略では、人口減少や新水源整備等の巨額投資により、現行料金のままでは令和 10 年度に赤字転落が見込まれている。
    - 物価高騰に伴う工事費増大等を踏まえ、事業費の平準化に向けたスケジュール見直し等を検討中である。
- **主な質疑応答・意見：**
    - **委員：** 令和 2～3 年頃の審議会でも赤字転落を見据えて値上げが検討されたが、コロナ禍やウクライナ情勢等の物価高騰を受け上げ幅を抑えた経緯がある。市民の生活費や固定費が上がる中で、「小刻みな値上げの繰り返し」になるのか、あるいは他の方法があるのか懸念している。次回の審議会までに新たなシミュレーションを踏まえた適切な改定幅を示してほしい。
    - **事務局：** 次回以降、現状の物価高や新水源整備等の実態を踏まえた試算をお示しする。また、経費削減として人件費の管理や、将来的な「スマートメーター」導入による効率化等もあわせて検討していきたい。

（3）安芸市下水道事業会計の現状と課題、決算の状況について（事務局説明）

- **事務局説明：**
    - 令和 7 年度末の接続済み人口は 3,918 人。収益的収支の純利益は約 14,000 円であり、一般会計からの他会計補助金等の繰入れによりわずかに黒字を確保している。
    - 経費回収率は公共下水道 65%、農業集落排水 63%と 100%を下回っており、今後は人口減少や老朽化に伴う修繕費増加が見込まれるため、接続率の向上や施設の適正化、ウォーター PPP（官民連携）の検討、将来的な料金改定の必要性等について継続的に検討していく。

6. その他

- **事務連絡：**
    - 次回（第 2 回）会議は 11 月初旬を予定し、料金改定等のシミュレーション資料について審議を行う予定。

7. 閉会

- 予定された議事を終了し、閉会となった。